

別表1（第28条関係）

国際政治経済学研究科国際政治学専攻（修士課程）

当該専攻に「安全保障」及び「グローバルガバナンス」の各コースを置き、修士学位申請論文提出を選択する学生は、2年以上在学し、所定の履修方法に従い30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、その審査及び最終試験に合格しなければならない。また、特定の課題についての研究の成果提出を選択する学生は、2年以上在学し、所定の履修方法に従い38単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、その審査及び最終試験に合格しなければならない。ほかに1外国語の認定に合格しなければならない。

区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択必修	選択	
A 群 科 目	国際政治研究の実際		2		
	国際政治学		2		
	国際政治経済論		2		
	事例研究方法論		2		
	社会科学方法論		2		
	国際関係思想		2		
	国際紛争論		2		
	安全保障理論		2		
	欧州外交史		2		
	国際法		2		
	ミクロ経済学基礎		2		
	マクロ経済学基礎		2		
	国際経済学Ⅰ		2		
	統計分析Ⅰ		2		
	ゲーム理論Ⅰ		2		
安全 保 障 コ ー ス B 群 科 目	外交政策論		2		
	安全保障政策		2		
	国際関係史		2		
	近代日本政治外交史		2		
	EU研究		2		
	国連研究		2		
	国際関係法		2		
	国際平和活動論		2		
	アメリカ外交		2		
	アメリカ政治		2		
	ヨーロッパ政治		2		
	ヨーロッパ外交		2		
	ロシア政治外交		2		
	中央アジア政治外交		2		
	中国政治		2		
	中国外交		2		
	アジア太平洋政治		2		
	アジア太平洋外交		2		
	中東政治外交		2		
	アフリカ政治外交		2		
	南アジア政治外交		2		
	東南アジア政治外交		2		
	中南米政治外交		2		
	朝鮮半島政治外交		2		
	人間の安全保障		2		
	平和構築論		2		
	日本の安全保障		2		
戦略研究		2			

	新領域の安全保障	2	
	インテリジェンス	2	
	政軍関係	2	
	国際政治学特論	2	
	政策過程論	2	
	ナショナリズムと日本政治	2	
	国際政治の計量分析	2	
	国際政治学特講	2	
	国際政治学演習Ⅰ	2	
	国際政治学演習Ⅱ	6	
グローバルガバナンスコースB群科目	グローバル・ガバナンス論	2	
	国際制度論	2	
	国際環境論	2	
	国際行政論	2	
	国際NGO論	2	
	現代国際政治経済論	2	
	インターカルチュラル・エシックス	2	
	多国籍企業論	2	
	国際公共政策Ⅰ	2	
	国際公共政策Ⅱ	2	
	環境経済学Ⅰ	2	
	環境経済学Ⅱ	2	
	資源・エネルギー政策	2	
	国際開発政策	2	
	国際経済法	2	
	EU研究	2	
	国連研究	2	
	国際関係法	2	
	アメリカ外交	2	
	アメリカ政治	2	
	ヨーロッパ政治	2	
	ヨーロッパ外交	2	
	ロシア政治外交	2	
	中央アジア政治外交	2	
	中国政治	2	
	中国外交	2	
	アジア太平洋政治	2	
	アジア太平洋外交	2	
	中東政治外交	2	
	アフリカ政治外交	2	
	南アジア政治外交	2	
	東南アジア政治外交	2	
	中南米政治外交	2	
	朝鮮半島政治外交	2	
	人間の安全保障	2	
	平和構築論	2	
	国際政治学特論	2	
	政策過程論	2	
	ナショナリズムと日本政治	2	
	国際政治の計量分析	2	
	グローバルガバナンス特講	2	
	国際政治学演習Ⅰ	2	
	国際政治学演習Ⅱ	6	

別表1（第28条関係）

国際政治経済学研究科国際政治学専攻（博士後期課程）

学生は、研究指導教員の指導のもとに研究主題を選び3年以上在学し、所定の科目を16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士学位申請論文を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

なお、ほかに1外国語の認定に合格しなければならない。

区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択必修	選択	
科 専 目 門	国際政治学特論Ⅰ	2			
	国際政治学特論Ⅱ	2			
研 究 指 導	国際政治学研究指導演習ⅠA	2			
	国際政治学研究指導演習ⅠB	2			
	国際政治学研究指導演習ⅡA	2			
	国際政治学研究指導演習ⅡB	2			
	国際政治学研究指導演習ⅢA	2			
	国際政治学研究指導演習ⅢB	2			

別表1（第28条関係）

国際政治経済学研究科国際経済学専攻（修士課程）

当該専攻に「国際経済」のコースを置き、修士学位申請論文提出を選択する学生は、2年以上在学し、所定の履修方法に従い30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、その審査及び最終試験に合格しなければならない。また、特定の課題についての研究の成果提出を選択する学生は、2年以上在学し、所定の履修方法に従い38単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、その審査及び最終試験に合格しなければならない。ほかに1外国語の認定に合格しなければならない。

区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択必修	選択		
A 群 科 目	ミクロ経済学Ⅰ		2			
	ミクロ経済学Ⅱ		2			
	マクロ経済学Ⅰ		2			
	マクロ経済学Ⅱ		2			
	情報と組織の経済Ⅰ		2			
	情報と組織の経済Ⅱ		2			
	ゲーム理論Ⅰ		2			
	ゲーム理論Ⅱ		2			
	経済数学Ⅰ		2			
	経済数学Ⅱ		2			
	計量経済学Ⅰ		2			
	計量経済学Ⅱ		2			
	統計分析Ⅰ		2			
	統計分析Ⅱ		2			
	B 群 科 目	国際経済学Ⅰ		2		
		国際経済学Ⅱ		2		
金融論Ⅰ			2			
金融論Ⅱ			2			
国際金融Ⅰ			2			
国際金融Ⅱ			2			
国際経済政策Ⅰ			2			
国際経済政策Ⅱ			2			
産業組織Ⅰ			2			
産業組織Ⅱ			2			
多国籍企業論			2			
公共経済学			2			
国際公共政策Ⅰ			2			
国際公共政策Ⅱ			2			
開発経済学			2			
国際開発政策			2			
開発金融			2			
環境経済学Ⅰ			2			
環境経済学Ⅱ			2			
資源・エネルギー政策			2			
アジア経済			2			
経済史Ⅰ			2			
経済史Ⅱ			2			
アメリカ経済			2			
ヨーロッパ経済			2			
日本経済			2			
応用ミクロ経済分析			2			
労働経済			2			
国際経済学特講			2			
国際経済学演習Ⅰ		2				
国際経済学演習Ⅱ	6					

別表1（第28条関係）

国際政治経済学研究科国際経済学専攻（博士後期課程）

学生は、研究指導教員の指導のもとに研究主題を選び3年以上在学し、所定の科目を16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士学位申請論文を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

なお、ほかに1外国語の認定に合格しなければならない。

区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択必修	選択	
科 専 目 門	国際経済学特論Ⅰ	2			
	国際経済学特論Ⅱ	2			
研 究 指 導	国際経済学研究指導演習ⅠA	2			
	国際経済学研究指導演習ⅠB	2			
	国際経済学研究指導演習ⅡA	2			
	国際経済学研究指導演習ⅡB	2			
	国際経済学研究指導演習ⅢA	2			
	国際経済学研究指導演習ⅢB	2			

別表1 (第28条関係)

国際政治経済学研究科国際コミュニケーション専攻(修士課程)

当該専攻に「国際コミュニケーション」のコースを置き、修士学位申請論文提出を選択する学生は、2年以上在学し、所定の履修方法に従い30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、その審査及び最終試験に合格しなければならない。また、特定の課題についての研究の成果提出を選択する学生は、2年以上在学し、所定の履修方法に従い38単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、その審査及び最終試験に合格しなければならない。ほかに1外国語の認定に合格しなければならない。

区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択必修	選択	
A 群 科 目	コミュニケーション論		2		
	言語科学		2		
	社会言語学		2		
	比較文化論		2		
	文化と世界観		2		
	リサーチ・メソッドⅠ		2		
	リサーチ・メソッドⅡ		2		
	行動科学の統計学		2		
	文章表現法		2		
B 群 科 目	国際コミュニケーション論		2		
	異文化コミュニケーション論		2		
	ディスコース・アナリシス		2		
	プラグマティクス		2		
	多変量データの解析法		2		
	コミュニケーションの心理学		2		
	ヘルス・コミュニケーション		2		
	インターカルチュラル・エシックス		2		
	エスノグラフィック・メソッド入門		2		
	アジア圏の異文化コミュニケーション		2		
	認知意味論		2		
	認知文法論		2		
	現代言語学特殊講義		2		
	言語政策論		2		
	移民と社会		2		
	多文化関係論		2		
	キリスト教文化論		2		
	日本の文化と歴史		2		
	アメリカ文化論		2		
	中国の文化と歴史		2		
	ヨーロッパの文化と歴史		2		
	ユーラシア文化論		2		
	ラテンアメリカ文化論		2		
	国際コミュニケーション特講		2		
	ネットワーク社会におけるコミュニケーション		2		
	言語科学特講		2		
	現代言語学諸問題		2		
	エスノメソドロジーと会話分析		2		
	比較文化特講		2		
	地域文化特講		2		
	日中文化比較論		2		
	国際コミュニケーション演習Ⅰ	2			
	国際コミュニケーション演習Ⅱ	6			

別表1（第28条関係）

国際政治経済学研究科国際コミュニケーション専攻（博士後期課程）

学生は、研究指導教員の指導のもとに研究主題を選び3年以上在学し、所定の科目を16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士学位申請論文を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

なお、ほかに1外国語の認定に合格しなければならない。

区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択必修	選択	
科 専 目 門	国際コミュニケーション特論Ⅰ	2			
	国際コミュニケーション特論Ⅱ	2			
研 究 指 導	国際コミュニケーション研究指導演習ⅠA	2			
	国際コミュニケーション研究指導演習ⅠB	2			
	国際コミュニケーション研究指導演習ⅡA	2			
	国際コミュニケーション研究指導演習ⅡB	2			
	国際コミュニケーション研究指導演習ⅢA	2			
	国際コミュニケーション研究指導演習ⅢB	2			